

社協だより御野

第35号
[20周年記念号]

発行 御野地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 大和田黎子
発行月 平成二十七年三月

印刷所 ㈱内外総合通信社

御野地区社協が20周年を迎えました

住みよい地域目指して

御野地区社協 会長 大和田黎子



平成二十六年年度、前小田会長の後任の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

御野地区社協設立二十周年記念式典には、ご来賓に岡山市社会福祉協議会会長の内田通子様はじめ、地元議員等の臨席を賜り、ご来賓のご祝辞や感謝状贈呈の方々の謝辞や思い出話等、心温まるお言葉頂き、深く感銘致しました。続いて記念講演会に元福山平成大教授の藤井悟先生をお招きして「これからの地域福祉について」の講演をいただき、今後の社協の方向性を示唆いただきました。社協の皆様が一丸となり、意義深い二十周年記念式典が挙行出来たことに心より感謝申し上げます。

は正に救世主だったと思います。力を得た大倉会長は再度、設立提案し「人は出さん、金も出さん」との条件付きながら採択を得、岡崎館長の協力のもと、平成六年三月十二日、各種団体が連携し、設立に漕ぎつけました。

これからは、超高齢時代に「一人暮らしの高齢者の集い」「元氣の出る会」「健康教室」など二十七の事業に取り組みたいです。

今後とも住みよい住んで良かった地域の実現を目指して皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

御野地区社協設立に思う
御野地区社協 初代事務局長 岡崎和雄

平成六年三月十二日設立された御野地区社協(以下、御野地区社協)が、創立二十周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

その内容は「岡山市社会福祉協議会から御野地区社協を立ち上げたい」という強い要請があること。「地区社会福祉協議会は、地域住民が抱えている問題や悩み、困りごととしてとらえ、さまざまな人たちが解決に向けて協議し、お互いが協力し合って『誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくり』を目指す地元住民主体の活動組織団体で必要なもの」と、御野地区社協設立の必要性について熱く語られました。

進し、今や御野地区は福祉の先進地と言われるようになりました。これからは、超高齢時代に「一人暮らしの高齢者の集い」「元氣の出る会」「健康教室」など二十七の事業に取り組みたいです。今後とも住みよい住んで良かった地域の実現を目指して皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

御野地区社会福祉協議会20年のあゆみ

1991(平成3年)～2015(平成27年)

年	できごと
1991	・連合町内会大倉敏夫会長が定例会で「御野地区社会福祉協議会設立」を提案し、否決。 ・9月、飯田茂・節子夫妻の要望により、岡山市で2番目に「元氣の出る会」発足。
1994	・御野学区連合町内会の定例会で「御野地区社会福祉協議会設立」の再提案をし、可決。 ・各種団体の協力を得て、平成6年3月12日結成総会開催。参加者69名。初代会長は大倉敏夫氏、設立に全面的協力の北公民館館長岡崎和雄氏は事務局長に就任。 ・4月より事業スタート。主な事業資金は赤い羽根共同募金20%還付金と岡山市社会福祉協議会の運営助成金等で運営。事業を執行するにあたり、総務部、広報部、在宅福祉部、青少年健全育成部、保健生活部を置く。「元氣の出る会」は在宅福祉部の事業の1つとして社協事業に組み込み、年2回開催。広報紙「御野地区社協だより」全戸配布。広報紙名称を募集。 ・御野学区高齢化→65歳以上2200余名、一人暮らし309名、寝たきり者27名。 ・8月、「学区盆おどり大会」を御野学区連合町内会に共催する。
1995	(高齢化率14.5%、高齢社会到来。1・17阪神淡路大震災。御野小学校創立100周年記念) ・福祉室の入口を車椅子で入れるようにスロープを付ける。 ・広報紙名称は「社協だより御野」に決定。題字は安宅市長に書いてもらう。 ・9月よりデイセンター活動事業を開始。愛称を「みのマスカットの会」と命名する。事業資金として、岡山市より助成金50万円と発足設備費として40万円出る。発足設備費で、高齢者生きがい事業のためにカラオケ機器を購入。デイケアは病院でリハビリ機能訓練、デイサービスは施設で入浴サービスや生活訓練、デイセンターは地域で生きがい事業。 ・12月、大倉会長急逝。平松照義氏会長代行となる。
1996	・総会で第2代会長に奥野三四志氏が就任。 ・障害者や高齢者等の安全対策として、北公民館の東側を開けて、津山線道から入口を付ける。使用しなくなった管理入室を改修工事して、会議室とし、障害当事者の集いの場として活用。 ・平成8年8月、御野学区盆踊り大会はウォーターフェスタに移行し、連町共に共催。 ・12月、障害当事者の会は保健所の支援を受けてB型機能訓練事業として「御野サン木の会」を発足し、医師、看護師、保健師等が参加して毎月1回、交流。
1997	(岡北中学校創立50周年記念)
1998	・7月、夏休み前の中学校地区懇談会において、学校側の生徒の現状報告と地域への協力要請。12月、御野地区社協青少年健全育成部会開催。
1999	・2月、事務局長(北公民館館長)花房氏急逝。事務局長は公民館館長から地域へ委譲。 ・1月、度重なる青少年の事件を憂慮して「御野地区青少年を考える会」を発足。元校長OB、保護司、地区社協役員、PTA役員等をメンバーとして、毎月1回程度話し合い。8月、「御野地区青少年を考えるトライアングルの会」と命名。この後、10月の会を最後に閉会。
2000	・2月、ボランティア「ままかりの会」が発足し、社協事業のボランティアに寄与する。 ・8月、「みの夏まつり」開始、連町と共催。
2001	(平成12年度から介護保険制度が導入) ・デイセンター活動事業助成金50万円から30万円に減額。新規事業として「いきいきサロン」事業開始。サロンごとに3年間2万円の助成。サロンは順次7町内会に開設。 ・10月「北公民館まつり」に憩いのコーナー設置。社協事業として甘酒サービス。
2002	・「元氣の出る会」や「御野サン木の会」等に岡北中学生が総合学習の一環で交流。 ・12月、御野地区社協の要望により、北公民館にエレベーター設置。
2003	・児童クラブ運営、親子ガーデニング教室を事業項目に入れる。 ・部を見直し、総務部、在宅福祉事業部、保健事業部、地域健全育成事業部とする。
2004	・デイセンター活動事業助成金30万円が全面カット。デイセンター活動事業は御野地区社会福祉協議会事業に一本化させ、一部見直し、実施する
2005	・いきいきサロン「たんばぼの会」事業開始。
2006	・部長制を廃止。事業を総務部事業、在宅保健福祉事業、地域健全育成事業とする。 ・岡山ドームに引率していた敬老会を御野学区で開始(第1回御野小体育館にて)。 ・御野学区安全安心ネットワーク設立に参加。 ・「御野健康21推進の会」設立に参加。 ・「元氣の出る会」設立15周年記念式典。 ・高齢者友愛訪問事業廃止、お便り運動はハガキ代を御野小PTAへ移行後、廃止。
2007	(高齢化率21.5%、超高齢社会到来。御野幼稚園創立80周年記念)
2008	・「御野サン木の会」と「たんばぼの会」は「元氣の出る会」が吸収して、年10回開催。
2009	(御野学区連合町内会創立50周年記念)
2011	(3・11東日本大震災) ・従来の「みの夏まつり」を岡山市区づくり事業「みのサマーフェスタ」へ移行。
2012	(御野学区連合町内会が中心となり「安心カプセル」を活用したご近所見守りのまちづくりモデル地区となる) ・奥野氏会長辞任。第3代会長に小田勝弘氏が就任。
2014	・小田氏会長辞任。第4代会長に大和田黎子氏が就任。
2015	・2月21日に設立20周年記念式典開催。設立当初及び長年功労者19名に感謝状贈呈。

設立20周年記念式典

福祉社会実現へ

時代の要請に即応を

御野地区社会福祉協議会の設立20周年記念式典が二月二十一日、岡山市立北公民館で開かれ、功労者への感謝状贈呈や記念講演などが行われました。

役員、評議員ら約七十人が出席。石原富滋子副会長の開会宣言に続いて、大和田黎子会長が御野地区福祉協会の経緯などを振り返りながら「自助・共助の重要性が増してきています。福祉社会の実現に向けて活動を支えてこられた奥野三四志氏ほか十二人の方々に、大和田会長から感謝状が贈られました。

また、岡山市社会福祉協議会の内田通子会長をはじめ来賓四人の方から祝辞を頂きました。



役員、評議員らが出席して開催された御野地区社会福祉協議会設立20周年記念式典 (岡山市立北公民館)

も伝えていってほしい、このまちが温かく素晴らしい地域になるよう市社協としても力添えしたい。

小川信幸市議会議員は「行政ができること、市民ができること、それぞれの役割が大切。地域での交流を活発にして、住民の皆さんが元気で毎日過ごせるような活動をこれからも期待したい。」

高原俊彦県議会議長は「支え合いの精神が大切にされる時代、地区社協の果たす役割がますます大きくなってきている。」

逢沢一郎衆議院議員は「御野地区は教育・研究機関が集積している地域。岡山の教育をこの地域から盛り上げてほしい」との

- 〔活動目的〕**
地域住民の社会福祉への関心と理解を深め、自発的な住民参加と協力を促し、明るい福祉のまちづくりを推進する。
- 〔活動方針〕**
- 1、地域住民に対し、福祉意識並びにボランティア活動の重要性について、普及・高揚を図る。
 - 2、関係諸団体・機関との協議の場を増やし、連絡調整機能を図る。
 - 3、少子高齢化社会に対応して、地域の実態に即した在宅福祉、地域福祉活動を推進するとともに、青少年の健全育成に努める。
 - 4、安全・安心のまちづくりを推進し、笑顔で「ふれあい」「たすけあい」のある地域づくりに努める。

功労者感謝状を贈られた皆さん (岡山市立北公民館)



小地域での活動充実を

元福山平成大 藤井悟氏が講演
福祉学科長

2月21日に開催された御野地区社会福祉協議会設立20周年記念式典で、元福山平成大福祉健康学部福祉学科長の藤井悟氏に「これからの地域福祉—地区社協の果たす役割—」をテーマに講演していただきました。福山市で地区社協の立ち上げに尽力された経験をもとに実践的な内容のお話でした。



講演する藤井悟氏

以下、講演内容を要約したものを紹介します。

▽戦後日本で福祉の公私分離が行われ、民間福祉を支える原資として共同募金が始まりました。共同募金が集まった浄財を配分するためにできた組織が社会福祉協議会(以下、社協)だった。

▽町内会の活動に若者を引き取り込む一つの方法は、その人が仕事や趣味で得意としていることを何か一つだけ限定して頼んでみる。引き受けてくれたらいい。それで、あれもこれも次々に役割を押し付ける

▽相手の状況に合わせ、必要なのが福祉活動。そのため目の届く近く「狭い」単位でなければ実働に結び付かない。学区単位よりも狭い町内会単位や班・組単位で活動するのが実情に合っている。社協本来の役割を果たすためには小地域での身近な活動を大切にしてほしい。

御野地区社会福祉協議会 設立20周年記念式典

日時：平成27年2月21日(土) 午前10時
場所：岡山市立北公民館

- 式次第
- 司会 ・御野地区社会福祉協議会 事務局次長 人見 俱宏
開会宣言 ・御野地区社会福祉協議会 副会長 石原富滋子
主催者挨拶 ・御野地区社会福祉協議会 会長 大和田黎子
感謝状贈呈 ・設立当初の功労者
服部 勇 様 山平 勝也 様 岡崎登志恵 様
岡崎 和雄 様 国里 房子 様 飯田 節子 様
- ・長年の功労者
奥野三四志 様 水口美智子 様 山川恵美子 様
近藤 洋士 様 横田 徹 様 中山 信夫 様
小川 信幸 様 光岡 嘉子 様 武本 芳政 様
分島 和美 様 横田 康子 様 矢吹南海子 様
小合 望之 様
- 来賓祝辞 ・岡山市社会福祉協議会会長 内田 通子 様
・岡山市議会議員 小川 信幸 様
・岡山県議会議員 高原 俊彦 様
・衆議院議員 逢沢 一郎 様
- 受賞者謝辞 ・元御野地区社会福祉協議会会長 奥野三四志 様
・元御野地区社会福祉協議会事務局次長 岡崎 和雄 様
・元身体障害者団体代表 国里 房子 様
- 記念講演 「これからの地域福祉—地区社協の果たす役割—」
講師 藤井 悟 様 (元福山平成大 福祉健康学部 福祉学科長)
- 閉会挨拶 ・御野地区社会福祉協議会 理事 島村 俊彦

平成26年度 新任役員を紹介

今年度、新しく御野地区社会福祉協議会の役員に就任された方々を、皆さんからのご挨拶の言葉とともに紹介します。

「顔晴るえがお」大切に



御野地区
社会福祉協議会
理事
太田 昌孝
岡山市立
御野小学校
校長

御野小学校に着任し、はや一年が過ぎようとしています。この一年間、私は、折に触れ「がんばる」という言葉を使って話をしています。ただ、私の使う「がんばる」は「頑張る」ではなく、「顔晴る」という造語です。頑なに張り詰める「頑張る」ではなく、やるからには、みんな楽しんで、みんなで力を合わせてやりとげたときの達成感、満足感、充実感、晴れ晴れとした笑顔。これこそが「顔晴る」です。御野小学校は、「えがお小学校」というものがお小中学校というも

故郷を愛し誇れる子に



御野地区
社会福祉協議会
理事
川上 宏美
岡山市立
御野幼稚園
園長

青い空の下、満開の桜の花が旭川の土手沿いに咲いていた昨年四月、御野幼稚園に転動してまいりました。岡山市の中心部にありながら、豊かな自然に囲まれている御野学区に大変感激いたしました。また、自然環境だけでなく、地域の方々の温かさを強く感じました。

子どもたちの「顔晴るえがお」を一つでも多く生み出すことができるよう教職員一同、願っています。

心が一つにして「顔晴り」たいと考えます。皆様のお力添えをお願いいたします。

日々スタートできています。あいさつは、人と人をつなぐ「魔法の言葉」。あいさつの気持ちよさを感じ、自分からあいさつができる子どもも。そして、愛し誇りに思う大人になってほしいと思います。

花や空などの自然を見て美しいと感じ、人のふれ合いを通して、人の温かさを感じる子どもになってほしいと願っています。

つなぐの希薄化が問題とされるなかで、御野幼稚園は、地域の皆様に多大なご尽力をいただいております。

民生児童委員さんと愛育委員さんによる未就園児の託児、老人会の方々による昔遊びの伝授、民生児童委員さんによる朝のあいさつ運動など、御野幼稚園の園児は地域の皆様の愛情に包まれ、健やかに育っています。また、保護者は、地域の皆様を支えられていることを、日々実感しております。

御野社協の活動にまい進



御野地区
社会福祉協議会
事務局次長
人見 倶宏
御野地区民生委員
児童委員協議会
副会長

今年度中途、御野地区社会福祉協議会役員に就任し、昨年八月から当協議会事務局次長を引き受けることになりました。平成二十三年一月から民生委員・児童委員を委嘱されてから早や三年が過ぎ、二期目、再任されました。民生委員・児童委員たるものがどのようなものか全く無知に等しい状況からの出発でしたが、一年・二年経過していくうちに大変な

仕事であることに気がつき、小生な私に務まるか心配でした。四年経過した現在、どこに民生委員の仕事内容がソフト的に解ってきたものの実践的なハード、高齢者・児童の見守りなどまだまだ十分活動ができていないのが現状です。このような状況から、今回突然、当協議会の理事を引き受けることとなりました。社会福祉協議会の仕事もあまり解ってなく、民

生委員で一評議員として協議会事業である「元気の出る会」「サマフェスタ」などのお手伝いをしてきた次第です。これからは社会福祉協議会の一員として微力ながらお手伝いするつもりです。

毎朝の民生児童委員の方の「あいさつ運動」、愛育委員の方による弟妹の託児、卒業生の保護者による保育ボランティアなど、大変お世話になっております。

地域の皆様には、平A活動にご理解と協力をお願いいたします。

今後の活動に、御野幼稚園PTAのみなさん、ご協力をお願いします。

大変お世話になりました。退任された役員の方々に、お世話になりました。

△理事 藤田直美
△理事 窪田温子

△会長 小田勝弘
△理事 小川孝司
△理事 青木博子
△理事 藤田直美
△理事 窪田温子

交通安全は家庭から



御野地区
社会福祉協議会
理事
片山 佳織
交通安全母の会
会長

今年度、御野学区交通安全母の会の会長をさせていただいており、会長という大きなお役を頂くのは初めて私に務まるか不安もありましたが、多くの方に助けていただき活動をしています。

母の会では、子どもと高齢者を交通事故から守るための活動を地域の母の会の役員の方や小学校のお母さんと共に「交通安全は家庭から」を言葉に日々活動を行っています。

なく自転車の交通量も非常に多い地域です。また、道幅の狭い場所も多く見受けられ危険だと感じられる場所が多いかと思われま

私も小学三年生と年中の子を持つ母です。家庭では登下校だけでなく普段から正しい交通マナーを教え、守らせなければいけないと感じる日々です。

一件でも交通事故が減少するよう皆様のご協力の程よろしくお願

いたします。

御野学区は車だけでなく、

御野地区社会福祉協議会 平成25年度収支決算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部		※-は減		単位:円
費目	予算額	決算額	比較増減	摘要
繰越金	1,590,735	1,590,735	0	
事業運営費	150,000	150,000	0	岡山市社会福祉協議会より
福祉活動費	360,000	360,000	0	赤い羽根共同募金還付金
事業助成金	147,500	227,500	80,000	元気の出る会 30,000 ふれあい会食・配食 77,500 ふれあい活動 20,000 広報啓発活動 20,000 地区社協特別助成金 80,000 (岡山市社会福祉協議会より)
参加者負担金	240,000	323,450	83,450	元気の出る会会費(4回分) 272,600 ふれあい会食会費(1回分) 38,000 高齢者カラオケ 12,850
雑収入	20,000	18,230	-1,770	カラオケ貸与料 ・御野カラオケ 10,000 ・西江道老人クラブ 5,000 ・東江道こども会 2,500 預金利息 730
寄付金	0	70,000	70,000	寄付金(岩上隆雄様) 30,000 寄付金(学区在住 匿名様) 20,000 寄付金(学区在住 匿名様) 20,000
収入小計	917,500	1,149,180	231,680	
合計	2,508,235	2,739,915	231,680	

支出の部		※-は減		単位:円
費目	予算額	決算額	比較増減	摘要
総務事業費	200,000	122,934	-77,066	会議費 14,210 研修費(いきいき交流会・他) 28,900 事務費 42,339 広報啓発活動(社協だより御野・他) 37,485
在宅保健福祉事業費	600,000	706,753	106,753	ふれあい会食(2回) 165,393 ボランティア活動費(ままかり) 15,000 高齢者福祉活動費 45,750 (老人クラブ・カラオケDVD) 15,000 元気の出る会(9回) 301,922 ボランティア行事保険(会食・配食含む) 18,648 講師謝礼等 40,040
地域健全育成事業費	300,000	127,715	-172,285	学区敬老会助成 120,000 みのサマーフェスタ・北公民館まつり 110,715 体協関係事業 17,000
負担金	10,000	10,000	0	地区社協連絡協議会 会費
雑支出	50,000	15,797	-34,203	テーブルセンタークリーニング代(3回分) 10,765 生花・ほっかいろう 5,032
支出小計	1,160,000	983,199	-176,801	
予備費	1,348,235	0	-1,348,235	
次年度繰越金	0	1,756,716	1,756,716	
合計	2,508,235	2,739,915	231,680	

平成26年度 実施事業の報告

今年度、御野地区社会福祉協議会の事業として実施された行事の一部を紹介します。ここに掲載した行事以外にも、さまざまな事業が行われました。

家族連れら祭り満喫



岡山市消防音楽隊の演奏と演技 (みのサマーフェスタ)

安全安心ネットワークの主催、同フェスタ実行委員会(大和田黎子実行委員長)の運営で行われました。

体育館での演芸大会では、岡北保育園園児による銭太鼓や北民踊による花笠音頭、岡北中PTA副会長の小島祐枝さんによるバルーンアートのほか、岡山市消防音楽隊や岡大応援団吹奏楽による演奏、フィリピンの歌と踊り、ESDクイズがあり、また、ゲスト出演として、岡山のガールズユニット「マイドラピッド」による歌や、Kyaame Eキヤムによるバスケットボールパフォーマンスがあり、会場を盛り上げました。

中学生たちが打った太鼓のリズムに合わせて、北民踊や婦人会有志の先導で盆踊りが行われました。



中学生たちが打った太鼓のリズムに合わせて、北民踊や婦人会有志の先導で盆踊りが行われました。

このほか、健康チェックコーナーや防災コーナ、クリンタイム、福引抽選会などもあり、来場された皆さんは夏の午後と夜を満喫したようでした。

手作り弁当に舌鼓



食事の前に、園児たちのオペレッタを楽しむお年寄り(高齢者ふれあい会食会)

岡山市立北公民館で九月三日、七十歳以上で一人暮らしをされている方を招いて「ふれあい会食会(御野地区社会福祉協議会主催)を開催しました。初めに岡北保育園(津島東二丁目)の園児が「ねずみの嫁入り」をオペレッタ風に演じて披露し、その後音楽に合わせてお年寄りの肩をたたき、交流をしました。また、園児たちからお年寄り一人一人にプレゼントが手渡され、会場には笑顔があふれました。

食後は、保健師や包括支援センター担当職員から健康などに関する話を聞いて、参加された皆さんは身も心も大満足の様子でした。

編集後記

今回、初めて「社協だより御野」の編集をさせていただきました。御野地区社協の評議員として名前を連ねただけの存在でしたが、社協だよりの編集を通して、理念や活動への理解が少し深まったように思います。

今年度、御野地区社協が設立二十周年を迎えたこともあり、大和田会長や岡崎和雄初代事務局長の挨拶文を読み、設立当時の苦労意気込み、これまでの経緯を知ることができました。

当時を知らない若い世代の人たちにも、この社協だよりを通して御野地区社協の理念をご理解いただき、目指す活動に協力いただければ幸いです。(前田)

岡山市立岡北中学校体育館と周辺広場で七月二十六日、「2014みのサマーフェスタ」が開催されました。地域住民が共に力を合わせ、汗を流し、共に楽しみながら地域の特性を知り、絆を深めて安全・安心のまちづくりに寄与するため、二〇〇〇年発足の「みの夏まつり」から継続・発展した行事です。今年度は「ふれあい」をテーマに、御野学区連合町内会・同地区社会福祉協議会・同学区体育館の前広場に組まれたやぐら(みのサマーフェスタ)



体育館の前広場に組まれたやぐら(みのサマーフェスタ)

岡山市立北公民館で九月三日、七十歳以上で一人暮らしをされている方を招いて「ふれあい会食会(御野地区社会福祉協議会主催)を開催しました。初めに岡北保育園(津島東二丁目)の園児が「ねずみの嫁入り」をオペレッタ風に演じて披露し、その後音楽に合わせてお年寄りの肩をたたき、交流をしました。また、園児たちからお年寄り一人一人にプレゼントが手渡され、会場には笑顔があふれました。

食後は、保健師や包括支援センター担当職員から健康などに関する話を聞いて、参加された皆さんは身も心も大満足の様子でした。

岡山市立北公民館で九月三日、七十歳以上で一人暮らしをされている方を招いて「ふれあい会食会(御野地区社会福祉協議会主催)を開催しました。初めに岡北保育園(津島東二丁目)の園児が「ねずみの嫁入り」をオペレッタ風に演じて披露し、その後音楽に合わせてお年寄りの肩をたたき、交流をしました。また、園児たちからお年寄り一人一人にプレゼントが手渡され、会場には笑顔があふれました。

平成26年度の主な事業

- ▽元気の出る会(十回)
- ▽ふれあい会食会
- ▽いきいきサロンの支援
- ▽百歳の在宅長寿者祝い
- ▽学区敬老会
- ▽高齢者福祉活動
- ▽ボランティア活動の支援
- ▽健康づくり「みの健康21」の支援
- ▽三代交流
- ▽男性料理教室
- ▽体育関係事業支援
- ▽幼小中とのふれあい事業支援
- ▽交通安全教室支援
- ▽みのサマーフェスタ共催
- ▽社協だより御野発行

ご芳志に感謝いたします

ご寄付・共同募金

岡崎和雄様(宿) 地域の皆様にご協力いただきました平成二十六年赤い羽根共同募金の御野学区総額は百七十八万三千五百円でした。この二〇%が御野地区社会福祉協議会に還付され、運営の原資となります。

祝100歳

平成二十六年に御野学区で百歳を迎えられた方々です。
▽三宅貴代さん(大正三十一年一月生、津島東四丁目)
▽川迫美津子さん(大正四四年一月生、宿)

歌やピアノ演奏楽しむ



歌とピアノを楽しむお年寄りら(御野学区敬老会)

御野敬老会
岡山ロイヤルホテル 月二回、数え年八十歳(北区絵図町)で十一以上のお年寄り約二百

入賞された皆さんおめでとうございます

- キックベースボール大会
 7月27日(日) 8時30分から
 参加者: 約200人(9チーム)
 結果: 優勝=学南町2・3丁目
 準優勝=中井町A(2丁目)
 第3位=北方東本町A・北方東本町B
- ソフトバレーボール大会
 9月28日(日) 8時30分から
 参加者: 約250人(9チーム)
 結果: 優勝=北方東本町A
 準優勝=学南町2・3丁目
 第3位=半田町・西江道
- グラウンドゴルフ大会
 11月16日(日) 実施 参加者: 約50人



優勝

体育関係事業

式典の最後に、宿町内会の岡崎和雄さんが会食後のアトラクションではソプラノ歌手

六十人が参加し、「第九回御野学区敬老会(御野地区社会福祉協議会・同学区連合町内会・同学区婦人会主催)が開催されました。大和田黎子連合町内会長の挨拶に続き、高齢者を代表して義園ヒサ子さん(津島土生町内会)と矢吹嘉男さん(美恵子さん夫妻、北方東本町町内会)に記念品が贈呈されました。また、来賓を代表して岡山市北区役所の板野文雄区長から「祝辞を頂きました。